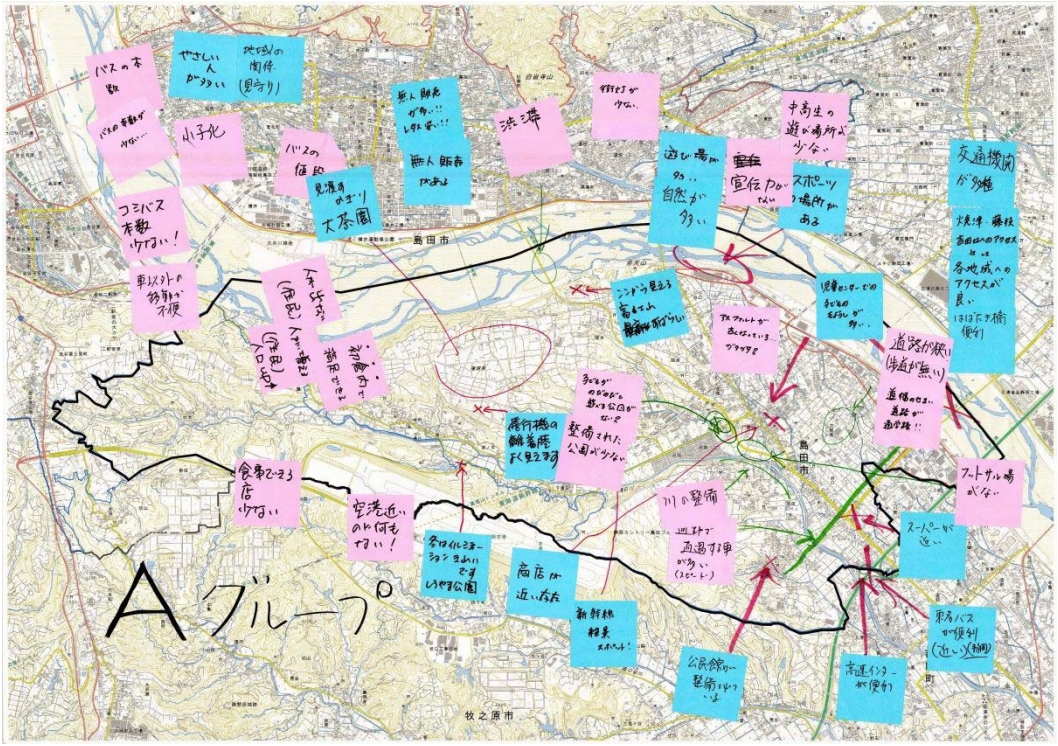
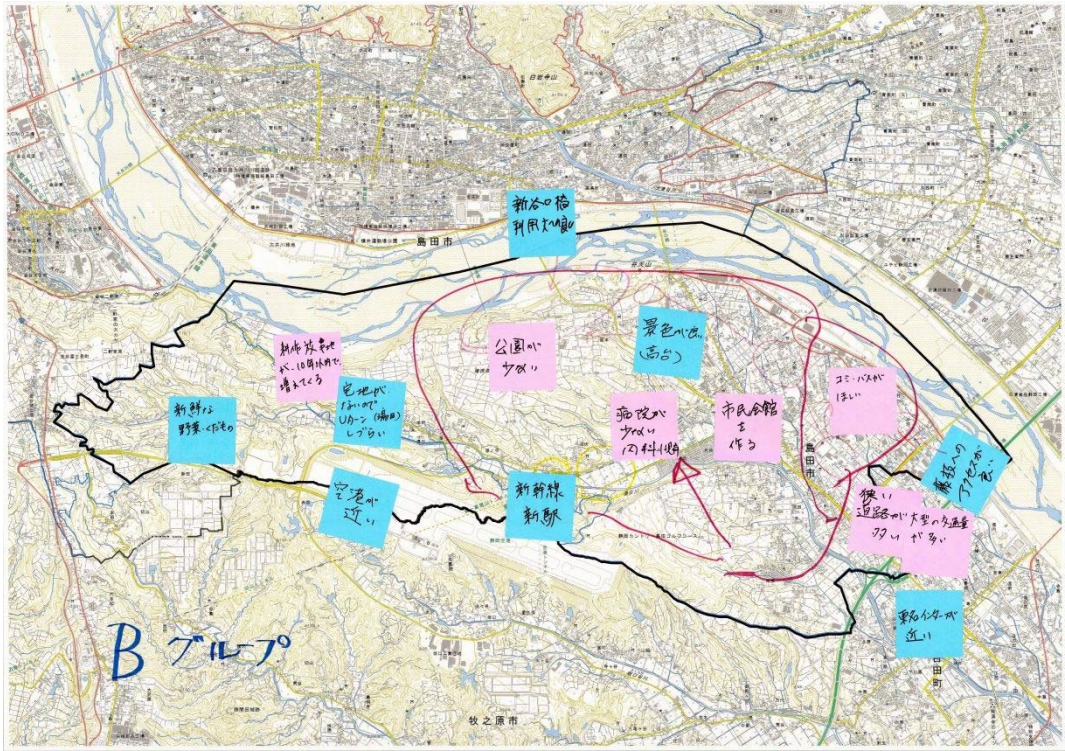
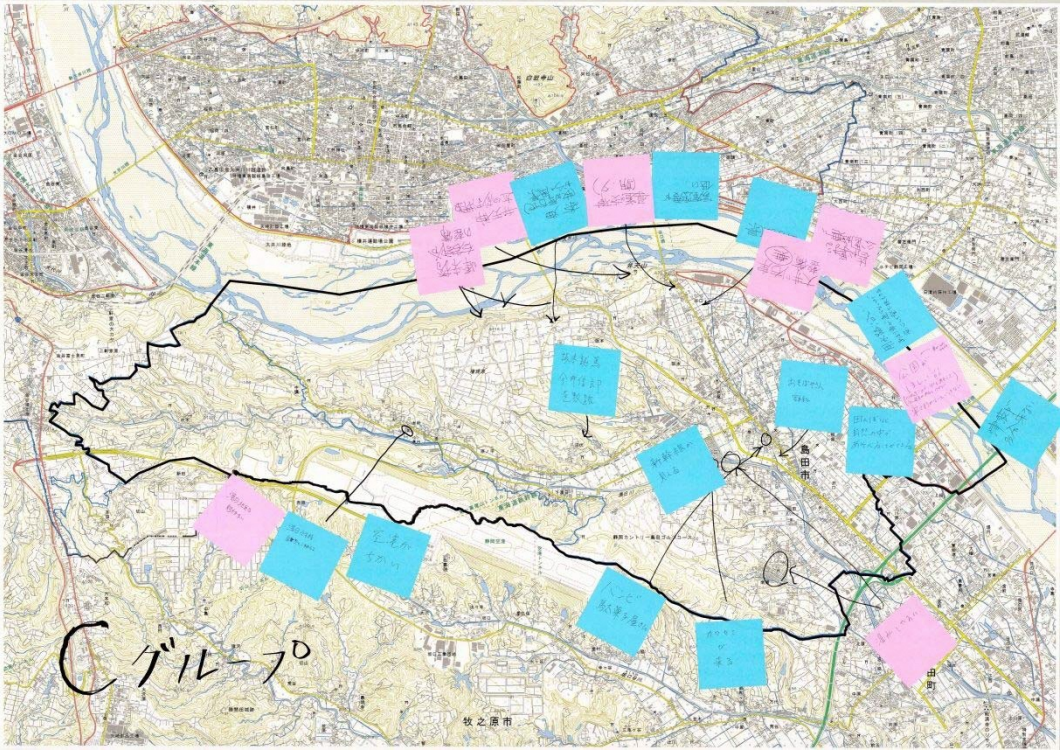
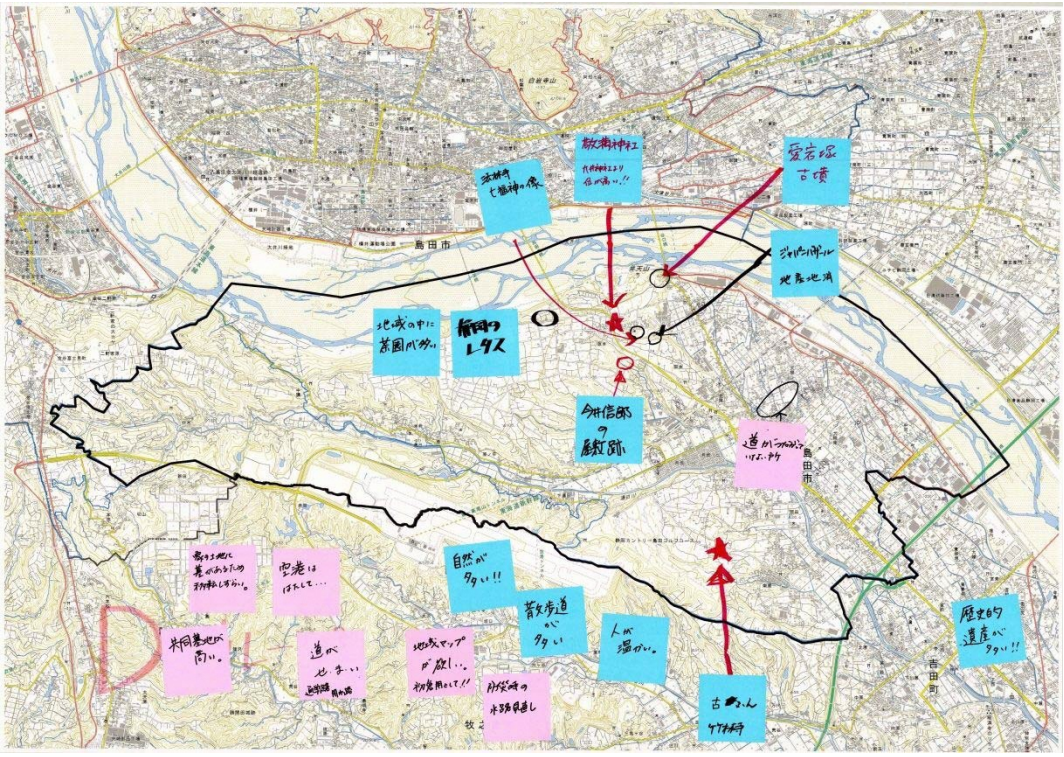
島田市都市計画マスタープラン
第１回地域別ワークショップ（初倉地域）
議　事　要　旨

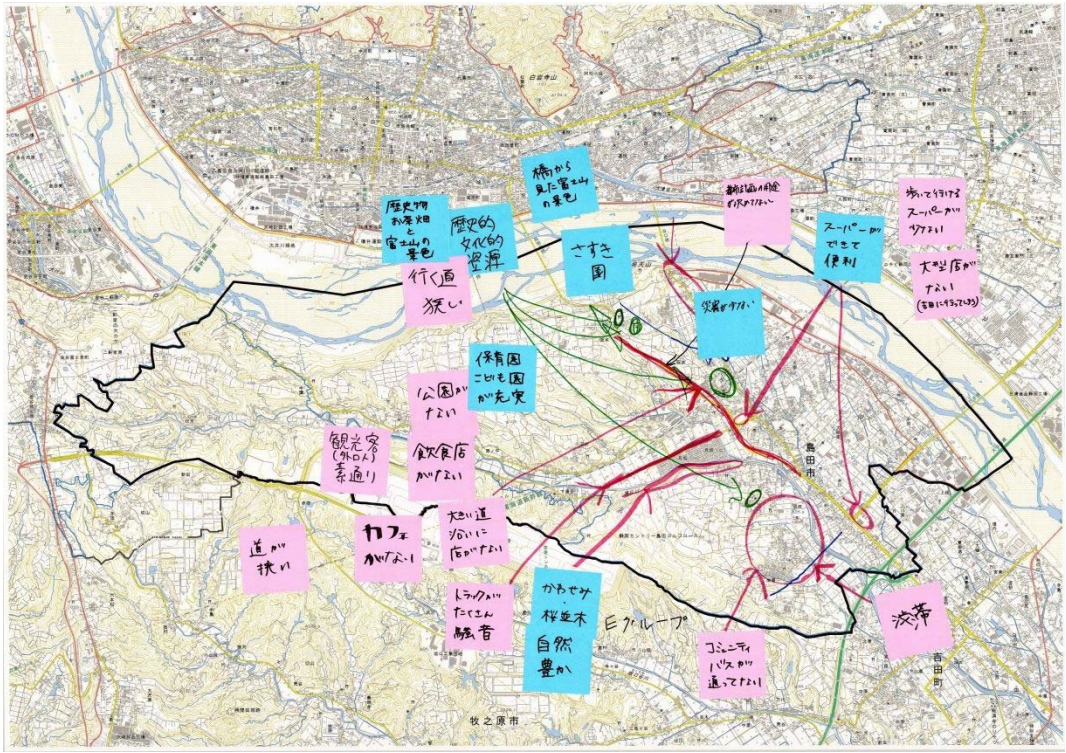
◆日　時：平成 31 年 2 月 15 日（金）19：00～21：00
◆場　所：初倉公民館（くらら）　第 1,2 集会室
■第１回地域別ワークショップ（初倉地域）　議事要旨

	Ａグループ
意見交換の結果	
地域の未来（グループ発表）	○これからの初倉地域は、老若男女が楽しみながら生活できるまちになると良いと思う。 ○富士山静岡空港があるため、これをもっと利用して国内や海外から多くの人が来て、初倉に少しでも留まれるようなまちになって欲しい。 ○多くの人が留まっていられるような施設や居心地の良い場所、安心できる社会資本（道路など）が今より少しでも増やせるようになっていれば、初倉地域の人も少しは減らずにいられると思う。 ○赤ちゃんから高齢者までの全ての人が、初倉地域の中だけで満足して生活できるよう、福祉や施設、スポーツやお店などが集まったまちになると良いと思う。 ○住民が集まれる場所を整備したり、道路の整備を充実させたりして、この場所に住む住民が住みやすいまちになることが一番だと思う。 ○人口を増やしていくためには、これからの初倉の未来を担う子ども達が過ごしやすい場所にすることが大切だと思う。そのためにも、子育てがしやすいまちになると良い。 ○初倉地区の中だけで衣食住に関する買い物やサービスが受けられれば、普段の生活が充実し、車に頼らずに歩いて生活できるようになるため、お年寄りの方も過ごしやすくなると思う。 ○初倉地域の人口を増加させる方法を都市計画的な視点で考える必要がある。 ○あとは、誰もが住みやすくてやさしい地域になると良いと思う。

	Ｂグループ
地域の良いところ・課題点（意見交換）	
地域の未来（グループ発表）	○初倉地域には自然があるため、子育て環境などに良い点はこれからも残しつつ、地域の核となるような公共施設（人が集まる施設）があると良い。 ○道路整備などが進み、交通のアクセスが良い地域というのは、裏を返せばマイカーがないとどこにも行けないということでもあると思うため、これからはマイカーがなくても快適に住めるまちになると良い。また、茶畑などの農地に関して、分散するのではなく集積させ農業をやりたい人がやりやすい環境になると良い。 ○人が集まる大きな施設を中心として、住民がやりたいコト・モノが全てできる地域になると良いと思う。 ○病院やスーパーなどが近くにあり、高齢者でも安心して生活できるような地域になると良いと思う。また、初倉の交通アクセスの良さを活かした居住区ができると、人が集まってくると思う。 ○これからの初倉地域の未来を担う子ども達がのびのび住める地域になれば良いと思う。

	Ｃグループ
地域の良いところ・課題点（意見交換）	
地域の未来（グループ発表）	○初倉地域の資源である農地に関して、今後計画的に利活用できるようになると良い。 ○近年頻発する自然災害に対して、住民が安全に安心して住めるような防災に強いまちづくりが進むと良いと思う。また、防災に強いまちづくりを進めるため、防災拠点の整備を進める計画があると良いと思った。 ○色々な整備が進められると良いが、一番は他の地域に住む人々から、初倉っていいね！と言ってもらえるような地域になると良いと思う。 ○子どもから高齢者までが快適に安心してくらせるよう、ゆりかごから墓場までを実現できるまちづくりが進んでほしい。 ○これからの初倉の目標としては、住みたいまち No.1 を目指していきたい。 ○子どもや高齢者、子育てをする現役世代のどの世代の人々も済みやすく、生活の中心となる地域を目指していきたい。 ○初倉地域は島田の中でも田園や茶畑が多く残っている地域のため、これらを活かしたまりづくりが出来ると良い。 ○また、老人から子どもまでが集まれる場として、バリアフリーの公園や公共施設が整備されると良いと思う。

	Ｄグループ
地域の良いところ・課題点（意見交換）	
地域の未来（グループ発表）	○この地域の歴史や伝統を大切にして、次の若い世代に伝えていくことが大切だと思う。 ○地震や洪水などの災害に備えるため、防災力を強くして、みんなが安心してすめるようなまちづくりを進めて欲しい。 ○初倉の自然の良さである山の緑や谷川の水、茶畑などを守り、住民だけではなく外から来た人たちと分かち合うことができるようなまちになると良いと思う。 ○老若男女がコミュニケーションできるようなまちになると良い。 ○今は車がなければ生活しにくい部分はあるが、将来は車に頼らず、歩いて生活できる暮らしができると良いと思う。 ○初倉地域は他の地域と比べると災害が少ない地域だと思うため、それを打ち出すような災害に強い地域になると良い。 ○子育てのしやすさなどにも繋がるが、この地域に住めばあまり経費（出費）がかからない暮らしができるようになれば、外から人も集まってくると思う。 ○初倉には茶畑や田園、大井川などの自然があるため、それらを活かして、歴史を味わえるまちづくりが進められると良いと思う。 ○住民自身が、子どもをこの土地で育てたいと思えるようになることが大切なため、子育てしやすいまちになると良い。 ○静岡空港を活かし、商業とコミュニティを増やしてにぎわいのあるまちになれば、初倉も元気になると思う。 ○どの世代も住みやすく、初倉の良さがいつまでも残るまちになれば良い。 ○住民一人一人の得意が伸びるまちになると良い。

	Ｅグループ
地域の良いところ・課題点（意見交換）	
地域の未来（グループ発表）	○茶畑と富士山が見える場所が多くあり、月坂の川沿いの桜並木がとても良い景観であるため、これらはこれからも残していけるようにしたい。 ○一方、コミュニティバスが通っておらず、高齢者のアクセスに不便な地区もあるため、今後整備が進むと良いと思う。 ○この地域には人が集まりにぎわう場所がないため、人が集まるお店などがもっとあれば良いと思う。 ○初倉は昔から地域のちながりが多く、コミュニティがまだ残っているため、これからもずっと続いて欲しい。 ○カワセミやカモ、鵜などのめずらしい鳥類や動物、生き物などの生息環境となる自然豊かな土地を保ち、ウォーキングコースなどを整備して欲しい。都会の親子連れが触れ合える場となるため、楽しくなると思う。また、カワセミの写真スポットなどには遠方より撮影に来る人もいるため、その人達を取り込むことも出来ると思う。 ○安心安全で便利な地域にし、若い人達から老人も一緒に仲良く暮らせる場所になれば、今後も発展していくのではないか。 ○住み続けたいまちとなるよう、ハード面では公共交通の充実、道路の整備、飲食店などの増加を進め、ソフト面では自然豊かなで素敵な景観や歴史ある観光資源の保全、子育てのしやすさや防災力のあるまちづくりを進められればと思う。 ○これからの初倉地域の発展のため、県道島田吉田線沿道に商店が建てられるようになると良い。その際、都市計画の用途を定めて、商店や住居の整理を行い、利便性の向上を図ると良いと思う。 ○色尾の中心部のスポンジ化が進んできているため、これからも店が残れるようになると良い。 ○コミュニティバスなどの交通の利便性を高めることにより、島田駅と六合駅、市民病院とのアクセスを良くし、病院の少ない初倉地区の改善を図って欲しい。 ○昔からある自然と歴史的遺産を残しつつ、子どもから高齢者まですべての人が住み良い地域になると良い。

島田市都市計画マスタープラン
第２回地域別ワークショップ（初倉地域）
議　事　要　旨

◆日　時：令和元年５月 14 日（火）19：00～21：00
◆場　所：初倉公民館（くらら）
■第２回地域別ワークショップ（六合地域）　議事要旨

	第２回ＷＳのまとめ
課題解決策の検討	**【住環境の改善】** ・小児科の設置 ・子どもが遊べる施設の整備 ・公園の遊具の整備 ・安全な通学路の確保 ・移動販売の拡充 ・施設を活かすルール作り ・ICT を活用したサービスの実施
	【交通環境の改善】 ・車を使わなくても暮らせるまちづくり ・交通空白地の小型バスの運行 ・コミュニティバスの路線拡充 ・空き時間を利用した登録制送迎サービスの実施 ・使いやすいタクシーの整備 ・地域ボランティアによる助け合い運転や送迎サービス
	【防災・防犯面の強化】 ・廃校を防災公園として活用する ・避難所を示す分かりやすいサイン ・避難している人を把握できる方法の確立 ・休耕地を太陽光発電場として活用する ・吉田や藤枝から避難してくる人を受け入れる場所の整備
	【自然環境の整備】 ・里山を自然公園として整備 ・桜並木の整備、拡充
	【人が集まる場の整備】 ・イベントやキャンプができる公園を整備する
	【歴史文化を伝承する場の整備】 ・初倉の歴史を知るルートの整備 ・休耕地を活用した農業体験場の整備 ・山菜採りや茶摘みができるイベントの実施 ・ジビエ料理など、イノシシの有効活用 ・初倉まつりを地育の場として活用する
地域の未来予想	**【地域内交通の利便性が高いまち】** ☆コミュニティバスの拡充　☆ボランティアによる助け合い運転 ☆タクシーの活用
	【子どもが安心して育てられるまち】 ☆安全な通学路の整備　☆街灯の設置　☆小児科の設置 ☆魅力的な教育環境の整備
	【安心・安全のまち】 ☆防災拠点の整備　☆太陽光発電の整備　☆避難所の確保
	【歴史・文化を継承していくまち】 ☆初倉の歴史を巡る散歩ルート　☆地育の拡充 ☆中高年のための歴史講座　☆初倉まつりでの歴史文化展の開催

	Ａグループ
課題解決策の検討（意見交換の結果）	**テーマ①　住む人を増やす**
	・初倉地区に立ち寄りたくなる仕掛け ・幼稚園、小学校、中学校が特色を出す ・イベント＋αとしてマルシェを整備する ・良い所をのばす ・防災のための公園
	テーマ②　ＩＣＴの活用
	・ICT を活用した、高齢化に対するサービス
地域の未来予想（グループ発表）	**【自然を活用したイベントの実施】** ・初倉地区に立ち寄ってもらうために、地域の自然を活用したイベントを開く。山菜採りやお茶摘みのイベントは、既に金谷が行っている事例を参考に具体化していきたい。プラスαとして、ジャパンバザールや地域の手作りの商品など、初倉ならではの内容で、若い人が飛びつくようなマルシェを作る。
	【魅力的な教育の場の整備】 ・初倉に住みたくなるように、幼稚園、小学校、中学校が魅力的になるといい。若い世代は、学校に魅力があると住みたいと考える。そのために、PTA が学校や先生に働きかけることができると思う。
	【ＩＣＴを活用したまちづくり】 ・ハコモノや道路は維持費がかかるので、やれることに限界があると思う。ICT 関係を活用できないか考えた。例えば、市民病院と家を繋いで、自宅で医師の診断が受けられるようにする。実際に採血をするのは難しいとは思うが、顔色を見て話すことはできると思う。また、高齢化社会が進行し、外出できない人が増えると思うので、ネットで買い物ができる環境を整える。介護士の人数も減り、一人で一人を支える時代が来ると思うので、最新技術を使って初倉が活性化すれば、住みやすいと感じて移住する人が増えると思う。

①住む人を増やす

②ＩＣＴの活用

Ａグループ

課題整理図（初倉地域）

【通環境の改善】
・体で道路が狭く、歩道がない箇所がある
・舗装を改修する必要がある
・関は充実しているが、車以外での移動が不便
・コミュニティバスは、本数が少なく運行していない地区もあり、運賃が高い

【都市機能の充実（医療・福祉・商業等）】
・飲食施設が少ない
・歩いて行ける範囲に大型商業施設がない
・公共施設を中心に、スーパーや病院を整備して初倉地域内で生活が完結できる状態になってほしい
・病院（内科・小児科）が少ない
・市民会館を整備してほしい
・公共施設などのバリアフリー化を進めてほしい

【都市公園等の整備】
・子どもがのびのび遊べる公園が整備されていない
・みんなが集まれる公園がない
・フットサル場がない

【自然環境の保全】
・10年以内に耕作放棄地が増加する
・山菜がとれる自然豊かな初倉を残していきたい

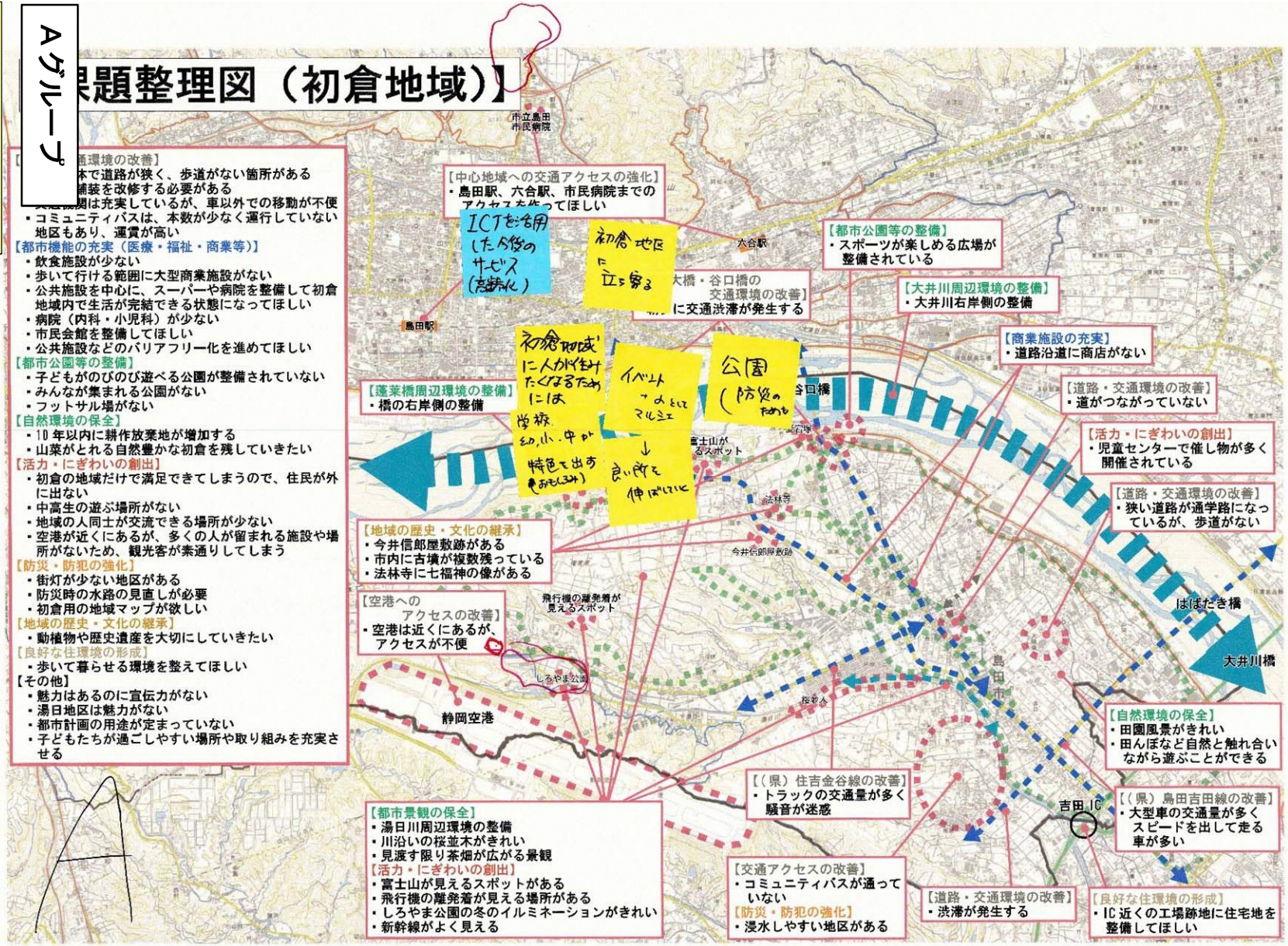
【活力・にぎわいの創出】
・初倉の地域だけで満足できてしまうので、住民が外に出ない
・中高生の遊ぶ場所がない
・地域の人同士が交流できる場所が少ない
・空港が近くにあるが、多くの人が留まれる施設や場所がないため、観光客が素通りしてしまう

【防災・防犯の強化】
・街灯が少ない地区がある
・防災時の水路の見直しが必要
・初倉用の地域マップが欲しい

【地域の歴史・文化の継承】
・動植物や歴史遺産を大切にしていきたい

【良好な住環境の形成】
・歩いて暮らせる環境を整えてほしい

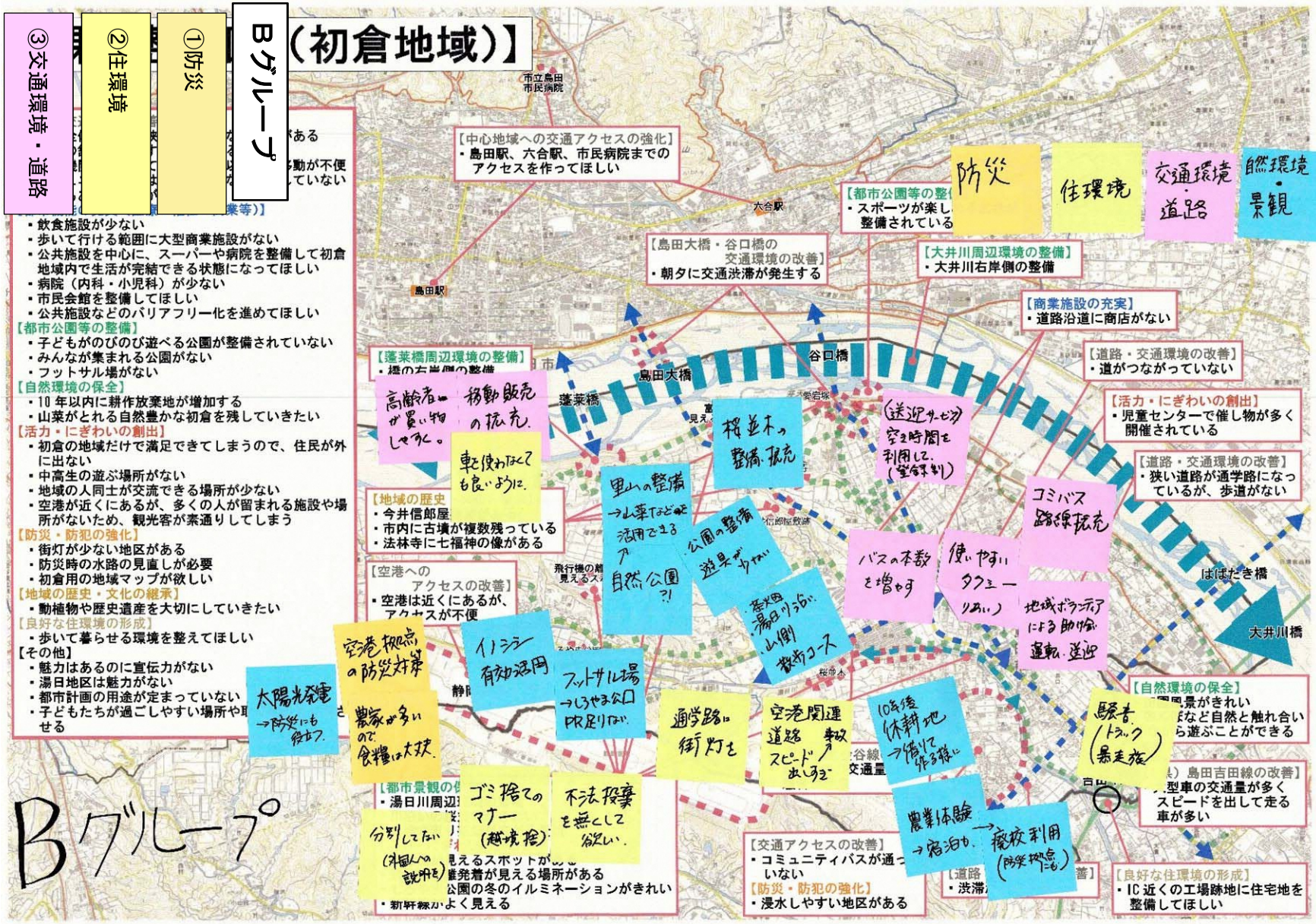
【その他】
・魅力はあるのに宣伝力がない
・湯日地区は魅力がない
・都市計画の用途が定まっていない
・子どもたちが過ごしやすい場所や取り組みを充実させる



	Ｂグループ
課題解決策（意見交換の結果）	**テーマ①　防災**
	・空港拠点の防災対策 ・農家が多いので、食料は大丈夫 ・廃校の防災拠点利用
	テーマ②　住環境
	・車を使わなくても暮らしていけるようにする ・空港関連の道路がスピードを出しすぎないような対策 ・通学路に街灯を設置する ・不法投棄をなくす ・越境してゴミ捨てしないマナーの徹底 ・外国人へ分別を説明する ・騒音対策
	テーマ③　交通環境・道路
	・高齢者の買い物をしやすくする ・移動販売の拡充 ・空き時間を利用した登録制送迎サービス ・バスの本数を増やす ・コミュニティバスの路線拡充 ・使いやすいタクシーの整備 ・地域ボランティアによる助け合い運転や送迎
	テーマ④　自然環境・景観
	・防災にも役立つ太陽光発電の整備 ・桜並木の整備、拡充 ・里山の山菜などを活用できるように整備する ・里山を自然公園として整備 ・公園の遊具の整備 ・茶畑、湯日川沿い、山側を散歩コースにする ・ジビエ料理など、イノシシの有効活用 ・城山公園のフットサル場のＰＲ ・休耕地の借り手を作る ・宿泊できる農業体験場としての廃校利用
地域の未来予想（グループ発表）	**【休耕地の活用】** ・前回、「10 年後には休耕地が増えるのではないか」という意見があったが、農地を借りたい人はいると思うので、募集システムを作る。また、休耕地を集約して、宿泊できる農業体験イベントを行えば、人が集まると思う。また太陽光発電として活かせれば、被災時に停電にならないと思う。
	【散歩コースの整備】 ・公園だけでなく、遺跡や茶畑を巡る散歩コースを整備して、気軽に歩ける場所を作る。湯日川沿いや山側、茶畑など、自然の中を歩けるコースにする。南原の上から降りてきて杉坂のカフェでとか、湯日川をずっと沿って行くと、湯日とか中堂の方までのきれいなホタルとかが見える方まで歩けるとか。大井川の河川敷までの間に散歩コースを大きく作ってもいいと思う。
	【新しい人達が住みやすい地域づくり】 ・車を持っている人はとても便利だが、車がない人に対応した新しい交通網を作ってほしい。例えば、バスの本数の増加や、コミュニティバスの拡張を考えたが、膨大な費用がかかると思う。そこで、地域ボランティアで助け合い、空いた時間や労力を持ち寄れる仕組みを作れたらいいと思う。

Bグループ【（初倉地域）】

①防災
②住環境
③交通環境・道路
④自然環境・景観



<table>
<tr><th></th><th>Ｃグループ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">課題解決策（意見交換の結果）</td><td>テーマ①　安心安全な初倉（防災・防犯）</td></tr>
<tr><td>・近所での声掛け
・初倉商工会の場所が支援場所になっている
・避難所の確保
・避難所を示す分かりやすいサイン
・避難所を利用している人を確認する方法の確立
・吉田や藤枝から避難してくる人を受け入れる場所の整備</td></tr>
<tr><td>テーマ②　人々が集まる場</td></tr>
<tr><td>・月１でイベント開催
・人が交流できる場を増やす
・みどり保育園の跡地を防災公園にする
・統合後の南小、湯日小を防災公園にする
・吉田公園のようにイベントやキャンプで人が集まる場所がほしい
・公園で出店できるなど初倉内でお金が回るようにしたい
・子どもも大人も遊べて避難場所にもなる大きな公園がほしい
・市役所職員と市民がイメージする公園にギャップがある</td></tr>
<tr><td rowspan="3">地域の未来予想（グループ発表）</td><td>【イベントができる公園の整備】
・吉田公園や大竹公園など、イベントやキャンプができる場所を整備してほしい。</td></tr>
<tr><td>【ギャップの解消】
・市役所の職員と、市民が思い描く公園のイメージに大きなギャップがあるように感じている。お互い話し合ってよい公園が整備されたらいいと思う。</td></tr>
<tr><td>【廃校の活用】
・初倉南小学校と湯日小学校の統合が検討されているが、学校の跡地を避難所として活用するための仕組みが必要になると思う。そこに避難してくる人数を想定し、避難してきた人たちの人数や状況を確認できるシステムが必要になる。また、防災公園としての活用も併せてできたらいいと思う。</td></tr>
</table>

【…題整理図（初倉地域）】

Cグループ

①安心安全な初倉（防災・防犯）

②人々が集まる場

【…の改善】
- …道路が狭く、歩道がない箇所がある
- …を改修する必要がある
- …充実しているが、車以外での移動が不便
- …ティバスは、本数が少なく運行していない
- …運賃が高い

【…市機能の充実（医療・福祉・商業等）】
- …食施設が少ない
- …いて行ける範囲に大型商業施設がない
- …共施設を中心に、スーパーや病院を整備して初倉
- …地域内で生活が完結できる状態になってほしい
- …病院（内科・小児科）が少ない
- …市民会館を整備してほしい
- …共施設などのバリアフリー化を進めてほしい

【…市公園等の整備】
- …子どもがのびのび遊べる公園が整備されていない
- みんなが集まる公園がない
- フットサル場がない

【自然環境の保全】
- 10年以内に耕作放棄地が増加する
- 山菜がとれる自然豊かな初倉を残していきたい

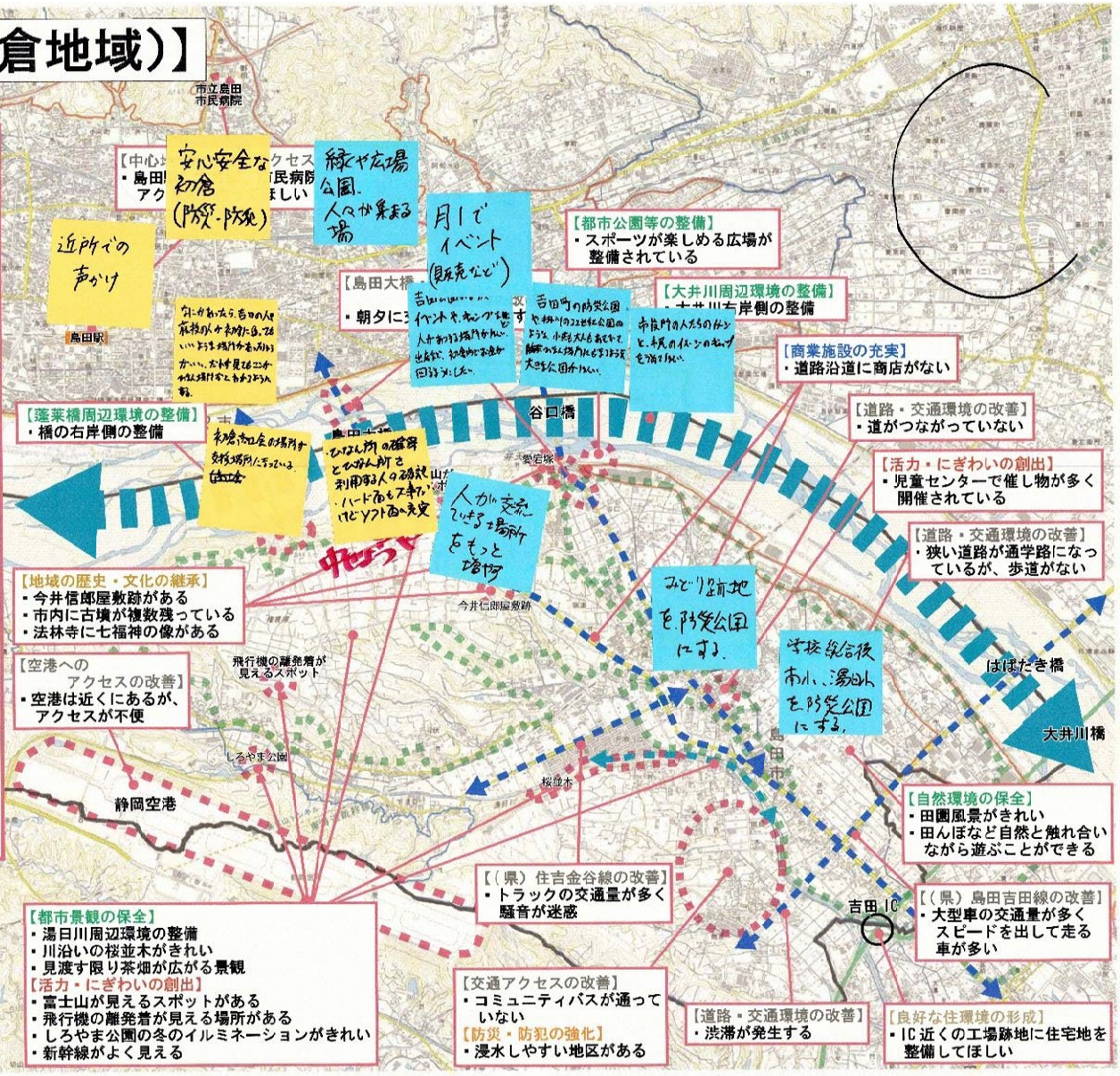
【活力・にぎわいの創出】
- 初倉の地域だけで満足できてしまうので、住民が外に出ない
- 中高生の遊ぶ場所がない
- 地域の人同士が交流できる場所が少ない
- 空港が近くにあるが、多くの人が留まれる施設や場所がないため、観光客が素通りしてしまう

【防災・防犯の強化】
- 街灯が少ない地区がある
- 防災時の水路の見直しが必要
- 初倉用の地域マップが欲しい

【地域の歴史・文化の継承】
- 動植物や歴史遺産を大切にしていきたい

【良好な住環境の形成】
- 歩いて暮らせる環境を整えてほしい

【その他】
- 魅力はあるのに宣伝力がない
- 湯日地区は魅力がない
- 都市計画の用途が定まっていない
- 子どもたちが過ごしやすい場所や取り組みを充実させる



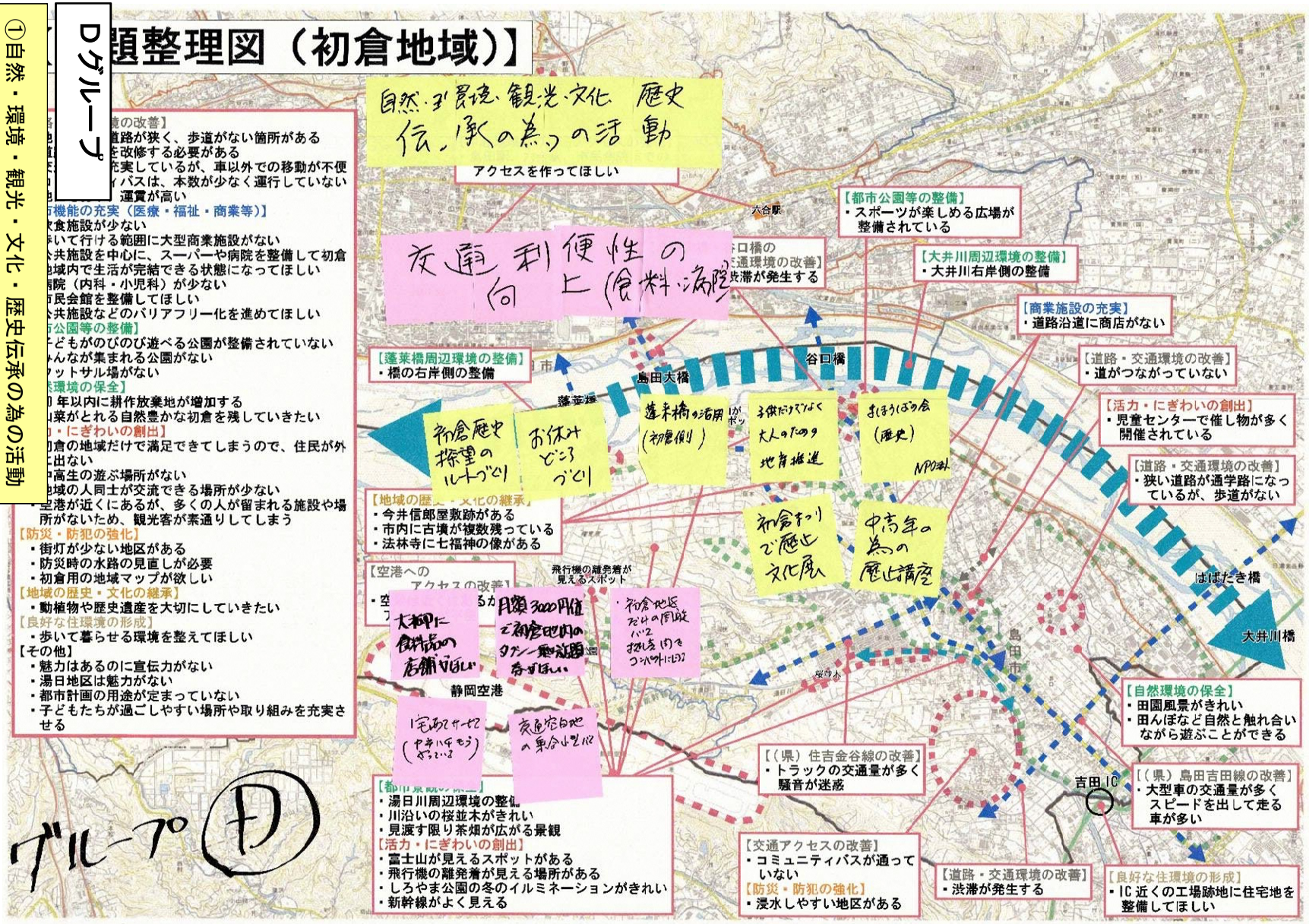
	Ｄグループ
課題解決策（意見交換の結果）	**テーマ①　自然・環境・観光・文化・歴史伝承の為の活動**
	・初倉歴史を知るルートづくり ・お休み処づくり ・初倉側の蓬莱橋の活用 ・子どもだけでなく大人のための地育推進 ・地域教育をするＮＰＯ法人まほろばの会がある ・初倉まつりで歴史文化展を開催する ・中高年のための歴史講座
	テーマ②　交通利便性の向上（食料・病院）
	・大柳に食料品の店舗がほしい ・宅配サービス ・交通空白地の集合小型バス ・初倉地区だけの周旋バスで拠点間をコンパクトに回る ・月額 3, 000 円位で初倉地域内のタクシー乗り放題券がほしい
地域の未来予想（グループ発表）	**【地育の実施】** ・初倉中学で「地育」を行い、効果が出ているという話を聞いた。歴史文化の伝承という観点から、青年～中高年を教育する歴史講座が必要だと考えた。初倉まつりは、そういう視点で開催しているらしいが、餅投げなどの印象しかないので、歴史や文化を紹介した企画を増やすのがいいと思う。
	【道路環境の改善】 ・出身地が違う人同士で話し合っても、初倉や周辺地域は、自然環境や観光文化歴史の分野が非常に優れているという結論になった。そこで、歴史の観光ルート作りを考えた。ルートの途中にお休み処を作り、歴史を知りながら休憩して、初倉の文化が伝承していければいいと思う。
	【地域内の利便性の向上】 ・大柳地区の人口が増えているが、実際には周辺 1～2km から店が無くなっているし、循環バスも 2 時間に 1 本しかなく利便性が悪い。この状況を改善する必要があると思う。ただ、バスの本数を増やすにはお金がかかることに加え、乗客数が少ないので、お金を投じても採算がとれるのか分からない。解決策として、月額 3,000 円程度のタクシー券の発行を考えた。または軽自動車等を使った、特定の地域だけを回る自主運行バスを考えた。
	【施設を活かすルール作り】 ・住民同士でルール作りをして、住みやすい地域にしていく必要がある。道路や施設を作ることより、それを活かすためのルール作りをした方がいいと思う。どこの町も人口が減っているが、住宅は増えている場所がある。そこには他所から来た人が大勢いるので、初倉のことをよく知らないと思うので、ルールが必要になると思う。また、中学校での地育という話があったが、子どもだけでなく大人も初倉のことを好きにならないと、どう活かすかという方向に持って行けないと思う。

題整理図（初倉地域）】

Dグループ

①自然・環境・観光・文化・歴史伝承の為の活動

②交通利便性の向上（食料・病院）



【道路・交通環境の改善】
・道路が狭く、歩道がない箇所がある
・を改修する必要がある
・充実しているが、車以外での移動が不便
・ィバスは、本数が少なく運行していない
・運賃が高い
【市機能の充実（医療・福祉・商業等）】
・食施設が少ない
・歩いて行ける範囲に大型商業施設がない
・公共施設を中心に、スーパーや病院を整備して初倉地域内で生活が完結できる状態になってほしい
・病院（内科・小児科）が少ない
・市民会館を整備してほしい
・公共施設などのバリアフリー化を進めてほしい
【市公園等の整備】
・子どもがのびのび遊べる公園が整備されていない
・みんなが集まれる公園がない
・フットサル場がない
【自然環境の保全】
・10年以内に耕作放棄地が増加する
・山菜がとれる自然豊かな初倉を残していきたい
【活力・にぎわいの創出】
・初倉の地域だけで満足できてしまうので、住民が外に出ない
・中高生の遊ぶ場所がない
・地域の人同士が交流できる場所が少ない
・空港が近くにあるが、多くの人が留まれる施設や場所がないため、観光客が素通りしてしまう
【防災・防犯の強化】
・街灯が少ない地区がある
・防災時の水路の見直しが必要
・初倉用の地域マップが欲しい
【地域の歴史・文化の継承】
・動植物や歴史遺産を大切にしていきたい
【良好な住環境の形成】
・歩いて暮らせる環境を整えてほしい
【その他】
・魅力はあるのに宣伝力がない
・湯日地区は魅力がない
・都市計画の用途が定まっていない
・子どもたちが過ごしやすい場所や取り組みを充実させる

	Ｅグループ
課題解決策（意見交	テーマ　若い世代が住みたくなるまち
	・10 年先を考えた、子どもと暮らしやすいまち ・小児科が必要 ・子ども達が遊べる施設の整備 ・安全な通学路の確保 ・寺子屋の充実 ・安全に通れる道路歩道 ・子どもが学びながら体験できる施設
地域の未来予想（グループ発表）	**【安全な通学路の整備】** ・車道と歩道を完全に分けて、子どもが安心して通学できる道を整備する必要がある。通学路によっては、歩道がない道路を歩く場所がいくつかある。大型自動車が真横を通る道を小学校低学年が歩くのは非常に危ない。はばたき橋や島田大橋など、大きな橋から来る車はこれから増えると思うので、事故が起こることを見越して、安心な歩道を最優先で作ってほしい。他地域に暮らす人は、初倉に住みたいと思っている。それは橋がたくさんあり、焼津・藤枝・島田・牧之原などに行きやすいからだと思う。保育園・こども園・幼稚園が島田市全体で見てもけっこう多い方だと思う。子どもを預けてやすい地域だと思うが、危険性を考えて安全対策を行ってほしい。
	【小児科の整備】 ・初倉地区には小児科がない。自分の子どもは藤枝の小児科で生まれ、通っている小児科は焼津にある。島田内では予防接種に行くくらいで、子どもに何かがあった時に頼る病院がないので、小児科があってほしいと思う。
	【子どもと親が楽しめる施設の整備】 ・子どもが安心して遊べる場所も必要だと思うが、親も楽しめる複合型施設もあればいいと思う。大規模でなくてもいいので、案としてはバラの丘公園のように、小さい子どもは外で遊び、親はカフェ等で休憩できるような施設がほしい。小学校高学年や中学生には、体験型施設が必要だと思うので、プラネタリウムや空港の資料館などがあればイベントも開催できると思う。初倉地区でもそういう施設が充実してほしい。

若い世代が住みたくなるまち

Eグループ

課題整理図（初倉地域）】

・交通環境の改善】
区全体で道路が狭く、歩道がない箇所がある
路の舗装を改修する必要がある
通機関は充実しているが、車以外での移動が不便
ミュニティバスは、本数が少なく運行していない
区もあり、運賃が高い

【都市機能の充実（医療・福祉・商業等）】
- 飲食施設が少ない
- 歩いて行ける範囲に大型商業施設がない
- 公共施設を中心に、スーパーや病院を整備して初倉地域内で生活が完結できる状態になってほしい
- 病院（内科・小児科）が少ない
- 市民会館を整備してほしい
- 公共施設などのバリアフリー化を進めてほしい

【都市公園等の整備】
- 子どもがのびのび遊べる公園が整備されていない
- みんなが集まれる公園がない
- フットサル場がない

【自然環境の保全】
- 10年以内に耕作放棄地が増加する
- 山菜がとれる自然豊かな初倉を残していきたい

【活力・にぎわいの創出】
- 初倉の地域だけで満足できてしまうので、住民が外に出ない
- 中高生の遊ぶ場所がない
- 地域の人同士が交流できる場所が少ない
- 空港が近くにあるが、多くの人が留まれる施設や場所がないため、観光客が素通りしてしまう

【防災・防犯の強化】
- 街灯が少ない地区がある
- 防災時の水路の見直しが必要
- 初倉用の地域マップが欲しい

【地域の歴史・文化の継承】
- 動植物や歴史遺産を大切にしていきたい

【良好な住環境の形成】
- 歩いて暮らせる環境を整えてほしい

【その他】
- 魅力はあるのに宣伝力がない
- 湯日地区は魅力がない
- 都市計画の用途が定まっていない
- 子どもたちが過ごしやすい場所や取り組みを充実させる

島田市都市計画マスタープラン
第３回地域別ワークショップ（初倉地域）
議　事　要　旨

◆日　時：令和元年６月 25 日（火）19：00～21：00
◆場　所：初倉公民館（くらら）　第 1,2 集会室
■第３回地域別ワークショップ（初倉地域）　議事要旨

第３回ＷＳのまとめ			
まちづくりの方針の検討（主な意見）	初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち	個人	ボランティアなどへの参加／イベントへの参加／ 初倉の店舗で買い物するように心がける
		地域	若者中心の自治会作り／交流拠点の利用計画づくり
		民間	保育園の建設／イベントの開催
		行政	子育て支援のエリアづくり／公園の整備／廃校活用
	豊かな自然環境を未来へつなぐまち	個人	農地の貸出／地主や耕作者による景観等の維持・保全
		地域	農業体験のイベント／外国人観光客の対応
		民間	耕作放棄地の利用／農業体験・茶摘み体験の実施
		行政	農地の貸出／耕作放棄地の宅地転用／ 湯日谷川を活かしたサイクリングロード等の整備
	初倉の歴史・文化を体験できるまち	個人	拠点をつなぐルートの清掃活動
		地域	－
		民間	外国人観光客への対応
		行政	拠点をつなぐネットワークの整備
	車を使わなくても暮らせるまち	個人	バスを利用する
		地域	バスルートの検討／ 地域ボランティアによる助け合い運行
		民間	スーパーなどの移動販売の実施／ タクシーの空き時間を活用したデマンド運行
		行政	コミュニティバスの充実／公民館をバスの拠点にする／ ボランティア運行のサポート／ バス利用を促進する（割引チケット等）
まちづくりの目標	【Ａグループ】 『若者が町を作れるまち』（13 票）		
	【Ｂグループ】 『初倉が好きな人達がもっと好きになる街づくり。』（17 票）		
	【Ｃグループ】 『AI の活用と共存していくまちづくり』（９票）		
	【Ｄグループ】 『自然なつながりが生む長屋心の復活！！』（10 票）		
	【Ｅグループ】 『住みやすさナンバーワン！安心して子育てができるまち』（17 票）		

※票数は参加者による投票結果

Aグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち		・若者の中心の自治会（40歳で代替わり） ・年寄カフェをつくる ・変化があるまち	・工場をつくる ・大規模保育園の建設	・保育園の入園を島田市民のみにする ・保育士への優遇制度 ・子育てに特化したエリアを作る（小児科、保育園、公園） ・小児科の誘致
豊かな自然環境を未来へつなぐまち	・茶畑を宅地にする ・農地の貸出	・茶農家集める ・農業体験イベント ・外国人観光客への対応 ・ほうらい茶屋みたいなもの	・農業の請負 ・茶摘み体験の実施	・大区画の農地買収 ・耕作放棄地の宅地転用 ・農地貸し出し

まちづくりの目標

【グループ】
・若者が町を作れるまち
【個人】
・活気があって住みやすい
・No（農地）からYes（家/宅地）へ変換（人口増加、若年層増加）
・若者が初倉に興味を持つ

グループの意見

・若者が町を作れるまちならば、継続しながら活性化できるのではないかと思う。若者を増やすには、子育て世代に居住してもらう必要がある。大規模保育園の建設を企業等に依頼する。保育園を作っても保育士がいないと待機児童は減らないので、保育士は減税するなど補助制度を設ける。また、初倉には小児科がないので、行政に誘致してもらう。また自治会の役員は40歳で代替わりするなどして回転率を上げる。若者がまちを作ることで、継続したまちづくりができると思う。
・放置された農地は、宅地に変えるなど、行政が大区画で買い取り企業が請け負いやすいようなやり方を取っていく。個人でも行政でも、使っていない農地は貸し、作業が分からない人にはやり方を教える。茶摘みの時期には茶摘み体験イベントを開催し、お茶の文化を広めながら活性化させていく。

Ｂグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち	・ボランティアとか参加する意識 ・マイナンバーカードを持つ（コンビニで市などのサービスが受けやすくなる）	・どんなボランティアとか欲しいのかを打ち出す ・地域同士で助け合う	・皆が来たくなるイベントを開催する ・初倉まつりへの参加 ・初倉内を巡回するバス路線の整備 ・ドライバーと利用者をつなぐサービス	・初倉コミュニティの活動をイベントだけでなく地域にみんなに伝え、参加者を増やす ・近くに公園（初倉グランド等の有効活用）
車を使わなくても暮らせるまち	・車、運転手登録していく		・車で移動販売 ・空港へのバスも地域住民が使えるようにしてほしい ・ドライバーと利用者を結ぶサービス	・初倉内を巡回するバスの整備 ・公民館をバス拠点にする ・子育て支援のシッター代行サービスのように高齢者への代行サービス

まちづくりの目標
【グループ】 ・初倉が好きな人達がもっと好きになる街づくり。 【個人】 ・豊かな自然環境を未来へつなぐまち ・全世代が助け合い暮らしやすいコミュニティ ・住民参加型のまち、地域で協力し合い助け合えるまち ・豊かな「自然」（緑あふれる自然を未来へ）、豊かな「人」（住民参加のコミュニティ）、豊かな「街」（もっと初倉が好きになる）

グループの意見
・いま住んでいる人や、このＷＳに参加している人は、初倉が好きだと思う。中には初倉ではない土地から来た人もいると思うが、先祖代々ここに暮らしているはより強く好きだと思う。だから、そうした人たちがより初倉を好きになってくれるようなまちづくりをしていった方がいいと思う。

Ｃグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち	・公園位置の要望	・公園に関する意見集約 ・交流拠点の利用計画		・公園の整備 ・廃校の活用
豊かな自然環境を未来へつなぐまち	・地主や耕作者による景観等保全、維持	・景観の活用	・耕作放棄地の利用	・湯日谷川を活かした公園ウォーキング、サイクリングロードの整備
初倉の歴史・文化を体験できるまち	・拠点をつなぐネットワークの清掃活動			・拠点をつなぐネットワークの整備（ハード）
車を使わなくても暮らせるまち	・バスに乗る	・バスルートの検討 ・スクールバスの導入		・自動運転の活用 ・朝昼でルートを変更する ・分かりやすいバスルートの作成

まちづくりの目標

【グループ】
・AI の活用と共存していくまちづくり

【個人】
・子供から高齢者までがわかりやすく住みやすいまち
・茶畑や自然を後世まで残すまちづくり
・快適農住都市、共存のまち
・AI の活用と共存していくまちづくり
・未来都市島田

グループの意見

・80 歳以上の人たちが、スマホなどを操作してサービスを利用するのは難しいとは思うが、10 年後、20 年後にはそうしたサービスが身近になっていると思う。そうした技術を今から利用し始めていって、例えばバスの運行ルートをＡＩに決めてもらうなどすればいいと思う。また高齢者の在宅見守りサービスなどが出来ればいいと思う。

Dグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち	・地域イベントへ積極的に参加する ・地域住民同士での交流が増えるように働きかける ・地元での買物増を心掛け	・初コミへの参加率向上	・既存企業のイベント増（地域民との交流） ・企業のアンテナショップ（売り場）の開設	・都市計画による区域割 ・行政サービスの向上と利用マニュアルの作成
車を使わなくても暮らせるまち	・バスの利用率向上	・地域ボランティアによる助け合い運行		・ボランティア運行へのサポート ・車椅子でも乗れるタクシー導入の補助 ・移動販売車への行政補助

まちづくりの目標
【グループ】 ・自然なつながりが生む長屋心の復活！！ 【個人】 ・三世代が共存できる地域 ・人と人とがふれあう安心安全のまちづくり ・まちづくりは絆づくりから！！ ・自然なつながりが生む長屋心の復活！！ ・2000 万蓄えが無くてもやっていける初倉！ ・自然、歴史、文化を大切に古くからの初倉人と新住人が仲良くやらせるまち

グループの意見
・個人で目標を考えたときに、「つながり」や「ふれあい」に関する言葉が多かったので、それをまとめてグループの目標を作った。長屋心というのは、隣の家にお醤油を借りに行く文化で、昔の名古屋にあったらしいが、今はなくなってしまった。それを今やろうとしても大変だと思うけれど、自然にそういうつながりが生まれればよりよいまちになると思う。

Eグループ				
方針	【個人（自分）】	【地域（コミュニティ）】	【民間（企業等）】	【行政（島田市）】
初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち	・子育て世帯、子供と一緒に野菜作り ・じぃじ、ばぁば世代と孫世代	・公民館で講習会	・耕作放棄地を買い取って新しいサービスを展開する ・湯日公園（芝生）親子連れ ・食育講座	・貸農園をつくる ・野菜作り講習会実施
車を使わなくても暮らせるまち	・バス運転できる人自主申告（奨励金） ・バスを使う	・自治会でバスの回数券などの情報を周知させる	・スーパーマーケットの移動販売（トラック小型） ・タクシーの空き時間活用	・バスに乗るとお得になるようなキャンペーン or チケットの活用、宣伝 ・ミニワゴン車を利用したバスの運行 ・運転講習の補助 ・保険金の助成 ・バスルートを増やす

まちづくりの目標
【グループ】 ・住みやすさナンバーワン！安心して子育てができるまち 【個人】 ・助け合い成長できる初倉 ・緑の中で子育てできるまち ・安心して子育てしやすいまちづくりをすれば若い人達に魅力があるまちづくりをすれば、人が増えるのでは！もっとおしゃれな魅力あるまちづくりをするよう住民も協力ができれば。住んでいて良かったと思えるところにすると人が集まるのではないでしょうか。空き家の再利用（リフォームして安く貸出する）若い芸術家の人達を誘致してもらって、子育てをしながらの生活を市で援助？ ・誰もが笑顔で住み続けられるまち

グループの意見
・地域住民が助け合う、協力し合うまちになってほしい。また、住んでいてよかったと思えて、若い人たちが増えるまちになればいいなと思って、この目標にした。

島田市都市計画マスタープラン
第４回地域別ワークショップ（初倉地域）
議　事　要　旨

◆日　時：令和元年８月 20 日（火）19：00～21：00
◆場　所：初倉公民館（くらら）　第 1,2 集会室
■第４回地域別ワークショップ（初倉地域）　議事要旨

	第４回ＷＳのまとめ（主な）
“ご意見”カード	【交通】 ・バス利用者がほとんどいない ・静波線と湯日線の乗り継ぎをしやすくするために、バス停の位置等を改良してほしい ・旧道からの路線バスのルートを変更してほしい ・工場用地（はばたきからすぐ右折のところ）の道路を重量に耐えられるように整備してほしい
	【安全・安心】 ・防災拠点の整備
	【コミュニティ】 ・住民同士のコミュニケーションの向上 ・今回のワークショップのような話し合いの場を継続する ・企業と住民とのコミュニケーションの向上
	【活力・魅力・観光】 ・空港周辺に公園を整備する ・蓬莱橋の初倉側の整備・発展し、観光資源を活用する ・無人販売を増やす ・湯日地域の発展
	【環境】 ・「景観の保全」を行うには、補助なしでは農家の負担が大きい ・リニア開発による大井川の水問題があるが、初倉への影響はどうなるのか
	【その他】 ・今のままでは老齢化が進み、初倉の人口減少がより進行する可能性がある
“できること”カード	・初倉地域を知り、知ってもらう ・住民の声を伝える ・ボランティア活動に積極的に参加する ・地域の活動や行事、祭りに積極的に参加する ・自分が所有している農地、田、茶畑を保全する ・このワークショップが４回で終わるのはもったいないので、今後もこのような場所を継続していきたい ・意見交換会の場所に積極的に参加する

※『“ご意見”カード』には地域別構想に対する意見、『“できること”カード』には参加者が今後のまちづくりで取り組んでいきたいことを記入していただきました。

	Ａグループ
”ご意見” カード	・(3) 交通の方針④⑤について、バスに乗っている人はいないので、理想過ぎだと思う。もっと現実的に書いてほしい。 ・(6)環境との調和の方針について、景観の保全とあるが、補助なしで行うのは、農家の負担が増えるだけではないか。 ・空港周辺に公園ができるといい。坂部にはできるが、なぜ初倉（島田側）にはできないのか。
”できること” カード	・初倉を知り、知ってもらう ・住民の声を伝える ・初倉への思いを高める！！ ・公共交通の継続のために実現性のある案を作っていくこと
グループ発表	・初倉地域にはコミュニティバスと静鉄バスがあるが、一番の問題は利用者がいないことである。並行してデマンドのひまわりタクシーの実証実験を行っているが、そちらもほとんど利用者がいない。その理由は、高齢になっても自家用車で移動した方が便利だからだが、今のうちに公共交通の整備をしておかないと状況が悪化すると思う。 ・観光資源として茶畑がきれいに整備されているが、これは農家の方々の日々の努力の賜物であって、行政が協力しているものではない。このことについて、行政には考えてほしい。 ・坂部地区では空港に併設する公園を作るという話が出ているが、初倉地域からは一切話が出ていない。芝生広場でもいいので、公園ができたら良いと思う。 ・このような場所で意見を出し合い、とてもいいものが出来上がってきているので、ここだけのパワーで終えるのはもったいないと思う。初倉地域を良くするにはまずはいろいろなことを知らないといけない。知らなければ回りに伝えることもできない。まずは自分が初倉地域を知って、その知識を老若男女広い層の方々に知っていってもらえたらと思う。 ・住民と行政では見ているものが違うと感じている。40 年ほど初倉に住んでいるため、行政の方が知らない情報をある程度は知っているつもりでいるので、このような機会があれば発信していこうと思う。 ・このワークショップを通じて、初倉の良いところと改善が必要なところをたくさん知ることができた。この４回の中で初倉地域への希望が出てきたので、これを継続して想いを高め続けていきたいと思う。 ・公共交通機関の継続のために実現性のある案を作ってもらいたいという課題を市役所からいただいている。公共交通がなくなると困るので、どうしたら公共交通機関の利用が増えるのかということが全国的な課題となっている。 ・市役所からの伝達は回覧板で通達されていますが、それでは足りないと感じるので、もう少し工夫してほしい。

	Ｂグループ
”ご意見”カード	・静波線と湯日線の乗り継ぎをしやすくするため、バス停の位置等を改良してほしい ・路線バスのルートについて、旧道から入るルートを変更してほしい ・工場用地（はばたきからすぐ右折のところ）の道路を重量に耐えられるように整備してほしい ・蓬莱橋の初倉側の整備し、発展させることで観光資源を活用する ・無人販売を増やし、マップに載せる
”できること”カード	・ボランティア活動への積極的参加 ・地域ボランティアなど積極的に参加すること（高齢になっても役立つこと、自分のためにも） ・地域の活動に積極的に参加する。ご近所さんに手伝えることは声をかける。 ・ボランティア活動ができれば
グループ発表	・この地域に来てもらいやすいように交通整備の点に着目した。静波線と湯日線の乗り継ぎが悪く、バス停が小さいので危険な状態なので、乗り継ぎをしやすくしたり、バス停の位置の変更や待合室等のスペースを確保したりすると利用者が増えると思う。 ・路線バスは現在旧道を通っているが、初倉祭りの際は広い道路を通っていた。乗り継ぎをスムーズにすることでこれまでより活用しやすくなると思うので、ルート変更を検討してほしい。様々な交通手段の中で一番使いやすいバスをさらに使いやすくしてほしい。 ・工場用地の道路がガタガタなので、重量に耐えられるように整備してもらえると、工場の誘致等につながり、さらに初倉発展につながるので計画に追加してほしい。 ・蓬莱橋の初倉側があまり整備されていない。初倉側の観光資源の一つ「中條金之助景昭」の像までウォーキングで散策できるので、さらに整備してさらに初倉の観光資源として活用していきたい。 ・小さな畑を営んでいる高齢者がいるので無人販売所を増やしてほしい。その販売所も記載されたマップを市の方で作ってほしい。こうした施設も初倉地域に人を呼んだり、若者がスーパーで買うよりこちらの方を利用したりする手段になるので良いと思う。 ・自分の体が動く間は、地域の活動に参加したいと思う。 ・これからお役に立てることがあれば参加したい。自分のためになるとも思う。 ・これまで地域の活動に参加できていなかったが、また機会があったら嫌がらずに参加したいと思う。その時は近所の人も誘ってみようと思う。

	Ｃグループ
”ご意見” カード	・湯日地域の発展 ・防災拠点の整備
”できること” カード	・初倉を好きになる ・自分が所有する農地（田、茶畑）の保全 ・会社の存続 ・市のものを利用してみる ・初倉の活力・魅力 地域の行事や祭りなどに参加する
グループ発表	・湯日地域の発展が置き去りにされているように感じる。行政はお茶産業について繁盛していると認識しているようだが、実際はそうではないので湯日地域も整備してほしい。 ・現在、くららが防災拠点になっている。湯日地域にも防災拠点はあるが狭く感じるので、今後 20 年を見据え、防災拠点の整備を行うと良いと思う。 ・現在会社を経営しており、初倉地域に客が転入してくるという情報も入っていた。このワークショップに参加して、50 年以上住んでいるにも関わらず知らないことがたくさんあった。より初倉地域を知り、より初倉地域を好きになって、客から相談を受けた際には魅力をアピールできる努力をしていこうと思う。 ・現在農地を所有しているが、子どもたちが土地の所有権を拒否している。30 年茶産業に携わっているが、当時 1000 万円ほどの所得があったが、段々低迷し、現在は共働きをせざるを得ない状況になっている。以前は会社勤めだったので、兼業農家をしていた。農業の維持は難しくなっても農地としての機能を保全するための制度が現在あり、自分が所有する農地については農地のまま維持管理できるような状態で最終的にはすべて貸し出すかもしれないが、そのような契約を結んでも現在の状態を保全したいと思う。 ・今後会社を継ぐことになる予定なので、しっかり稼いで納税したいと思う。 ・公共交通を利用して、足らない部分を指摘したいと思う。 ・現在商工会に入会しており、毎年初倉祭り（旧商工祭）に携わっている。お祭りの規模もだんだん大きくなって、今後は新しい行事を作っていく予定だが、様々な行事に参加して初倉を盛り上げていけると思う。

	Ｄグループ
”ご意見” カード	・今のままでは老齢化が進み、初倉の人口減少が進む可能性がある ・住民同士のコミュニケーションの向上 ・リニア開発による大井川の水問題について、初倉への影響はどうなっているのか ・地域ごとのワークショップを行っているから、各地区にいる市議会議員が参加して地域の声を聞いてほしい ・企業と住民とのコミュニケーションの向上
”できること” カード	・今後の方針についてもう少し掘り下げて、具体的な方向性を皆で議論したい ・始めて参加して、４回だけで終わるのはもったいないと思う。継続してこのような機会が必要ではないか。 ・地域への興味を今以上に持ち、イベントや意見交換会に積極的に参加する。 ・ワークショップに参加し、初倉のことを少しだけど知ることができたので今後も続けていき、自分ができることを実現させていきます。 ・老若男女交じり合って事を成し遂げられるように声かけを行い、意見交換の場に顔を出していきたいと思います。
グループ発表	・現在少子高齢化がかなりの速度で進んでいるように感じているが、資料にそのことが記載されていなかった。 ・初倉地域の住人は、初倉地域にどのような事業をしている工場があるのかをあまり認識していない。 ・このワークショップに市会議員の方に出席してもらって、我々の意見を聞いてほしかった。 ・リニア関連の問題として、20 年後に初倉地域に水は来るのかが疑問である。２~３ｔ／秒（この地域一帯の生活用水と同等）の水が使われることが予想されているので、生活できなくなるのではないか。米を作れなくなる可能性もあるので、リニアについて影響の強い島田市が声を挙げるべきではないか。 ・今回の資料では具体的な掘り下げができていないので、内容を掘り下げられる議論ができる機会を増やしてほしい。ワークショップは今回で終了するが、気の合う有志がいれば、忌憚のない意見を言い合える仲間としてこの会を継続できたらと思う。 ・みどり幼稚園の跡地をどうするのか、学校合併の際はどうするのか等の議題は多々あるが、初倉地域として揉まれた意見が出てきていないと感じている。その音頭取りをこの会が行っていくことも良いと思う。 ・このワークショップに参加して初めて知ることが多く、とても勉強になった。４回で終わるのはもったいないと思うので、ぜひ継続してほしい。 ・PTA 会長をしていて、地域によって子どもたちの人口に差があると感じた。初倉地域の中でも人口格差があるので、その解決策についても意見交換できる会があれば参加したいと思う。 ・初倉地域に住んで４～５年になるが、この会に参加して初倉地域のことをほんの少しだけど知ることできてうれしく思う。問題もたくさんあるが、良いところもたくさんあることが分かったので、それらを知ることや地域の行事に参加することを今後も継続していきたいと思う。 ・初倉で創業することが夢なので、たくさん納税できればいいと思う。 ・初倉地域への興味を今以上に持ったので、行事や意見交換会があるときは積極的に参加していきたいと思う。